

学校支援地域本部事業事業実践現場訪問 【栗原市瀬峰地区学校支援本部】

ふるさと学習・地域文化体験活動 栗原市立瀬峰中学校

1 実施日 平成22年10月7日(木)

2 場 所 栗原市立瀬峰中学校

3 瀬峰中学校を訪問して

今回訪問した瀬峰中学校では、協働教育の一環として「職場体験学習」と「ふるさと学習」の学習を進めています。小野寺校長先生から、「ふるさと学習は、瀬峰地区で文化活動を行っている方々との交流を通して、地域や地域の文化への関心を高めることと、地域の文化について、体験活動を通して感性を磨くとともに自ら学ぼうとする姿勢を育てることがねらいである。」と話がありました。

訪問日は、全校生徒が希望する体験活動場所で地域の学校支援ボランティアから活動の支援を受けていました。生徒が真剣になって取り組んでいる姿やボランティアの方が楽しんで話をしたり、中学生に近づいて説明をしたりする姿が見られました。折り紙支援を行っていた89歳になるお年寄り方は、「去年も来て楽しかった。来年も中学校に来るのが楽しみなんだ。これが生きがいなんだなあ。」と話していました。お弁当づくりのリーダーの方は、「生徒や先生方に見本として提供するケーキを朝早く起きて作ってきた。」と、嬉しそうな表情で話していました。ボランティアの支援を受けながら、充実した活動が行われていました。

栗原市は「協働のまちづくり」に取り組んでいます。学校教育においては学校支援地域本部事業を協働教育の一手法と捉え、瀬峰地区(瀬峰中学校・瀬峰小学校)において、この取組を行っています。

【取組の様子】



わらのより方をていねいに教えていました。



おし花制作で、花びらの重ね方の工夫を一緒に行いながら教えていました。



材料を焦がさぬよう、火から離して煮詰めることを話していました。



ボランティアの振り付けを手本に「よさこい」の踊りを2回の練習で覚えました。